

## 平成22年度オープンキャンパス(一般公開)のご案内

平成22年11月6日(土)にオープンキャンパス(一般公開)を開催します。

発見、体験、プラズマエネルギー ～海水からエネルギーを～

内容

- 大型ヘリカル装置(LHD)見学ツアー
- 公開講座(小学生/一般向け)
- ホバーロボット工作
- おもしろ科学実験・工作「磁石で登る魔法?!の棒」
- バーチャルリアリティー体験
- プラズマくんとなかまたち
- クイズラリー

など多数

○入場は無料です。当日は、JR多治見駅および土岐市駅(下石バス停経由)から無料シャトルバスを運行します。

同時開催

体験ザリガメワールドへようこそ(土岐川観察館主催)  
有本尚紀プロによるテニス教室  
(事前に申込が必要です。詳細は下記連絡先にお問い合わせください。)  
NIFS杯少年サッカー交流大会

《連絡先》 自然科学研究機構 核融合科学研究所  
オープンキャンパス実行委員会  
〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL: 0572-58-2222  
URL: <http://www.nifs.ac.jp/welcome/2010/>

## 第20回国際土岐コンファレンスのお知らせ

第20回国際土岐コンファレンス(ITC20)を岐阜県土岐市のセラトピア土岐において平成22年12月7日(火)から10日(金)までの日程で開催します。国際土岐コンファレンスは核融合科学研究所が主催し、土岐市で開催している核融合とプラズマに関する国際会議です。今年では“The Next Twenty Years in Plasma and Fusion Science”(プラズマ・核融合科学の今後の20年)という主題で開催します。期間中の12月8日(水)には市民学術講演会も併せて開催します。詳細はウェブページ(<http://itc.nifs.ac.jp/>)をご覧ください。



## プレスリリース

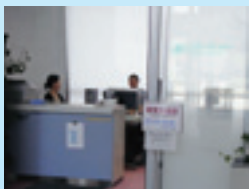
### 大型ヘリカル装置実験特集が米国原子力学会発行のフュージョンサイエンス&テクノロジー誌に組まれる

核融合科学の分野での有力学術誌であるフュージョンサイエンス&テクノロジー誌(米国原子力学会発行)の2010年7/8月号において、核融合科学研究所が進める大型ヘリカル装置(LHD)の特集が組まれました。核融合科学研究所の創立20年を記念する意味でも企画されたこの特集では、LHDにおける12年間の成果が総ページ数600ページに及ぶ60編の論文によって解説されています。特に、定常核融合プラズマの研究を中心としてLHD実験グループが総力を結集して執筆した論文について、135人を超える国際的な研究者との論評を重ね、形となったものです。編集者からはこの特集号が机上から教室に至るまで、核融合コミュニティにとって長く続く価値を持ち、新しい世代の科学者や技術者を魅了し、教育することとなるであろうということ、LHDが大学共同利用機関の共同利用装置であり、世界的な装置を、学生を含めた共同研究者へ研究の場として提供していることも高く評価いただきました。今後もLHD実験計画では広くかつ深く研究を進めてまいります。

## ビジターセンター開設のご案内

8月1日付けの管理部組織改編に伴い、これまで研究1期棟3階にあったユーザーズオフィスを図書館棟1階に移動して、新たにビジターセンターとして開設しました。共同研究者の方々の旅費計算や研究員宿泊施設(ヘリコンクラブ)の宿泊手続き、研究所入構証の発行や交付に関する業務を行います。研究所へお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。なお、ビジターセンターの開設に伴い、広報室が研究1期棟131号室へ移動しました。

ビジターセンター連絡先:  
TEL: 0572-58-2076  
e-mail: [visitor-center@nifs.ac.jp](mailto:visitor-center@nifs.ac.jp)



正面玄関入って正面のガラス張りの部屋です。

## 市民学術講演会を開催

平成22年7月10日にセラミックパークMINOにおいて、「海と核融合 マクロからプラズマ発電まで」をテーマに市民学術講演会を開催しました。近隣の市民を中心に約180名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

講演会の前半では、近畿大学水産研究所の村田修所長が、「クロマグロ養殖の現状について—完全養殖—」と題して、世界で初めて達成されたクロマグロの完全養殖までの道のりについて講演しました。マグロの漁獲制限に関しては、昨今、国際的な関心が高まっていますが、完全養殖の達成により、有限な海洋資源に負担をかけずにクロマグロを確保できるようになりつつあることが紹介されました。

後半は核融合科学研究所の小森彰夫所長が、「海から燃料!核融合プラズマ発電炉」と題して、海水から採ることが出来る核融合プラズマ発電炉の燃料に関する話題を軸に、核融合研究の現状と今後の展望について講演を行いました。



会場の様子

## 市民説明会を開催

平成22年8月2日から8月27日にかけて、土岐市、多治見市及び瑞浪市において、地球環境・エネルギー問題と核融合科学研究所の重水素実験計画について、市民説明会を開催しました。

説明会には土岐市9会場、多治見市14会場、瑞浪市1会場、19名の方にご参加いただき、地球環境・エネルギー問題から見た核融合研究の必要性と、大型ヘリカル装置(LHD)による重水素実験計画及び安全性について、研究所から説明を行いました。



会場の様子(鶴里公民館)

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.195 (2010年8,9月号)

〒509-5292 土岐市下石町322-6 TEL: 0572-58-2222 (代表)  
<http://www.nifs.ac.jp/> (E-mail: [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp))

\*過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

### 《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F  
TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: [info@jaacc.jp](mailto:info@jaacc.jp)  
著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。

